

令和5年1月 下田市教育委員会定例会 会議録

令和5年1月26日(木)13時30分、下田市教育委員会定例会を下田市立中央公民館大会議室に招集した。

出席委員は次のとおりである。

山田 貞己	教育長
田中とし子	委員
西堀 政幸	委員
宮内 慎也	委員

委員以外に出席した者は次のとおりである。

糸賀 浩	学校教育課長
平川 博巳	生涯学習課長
土屋 大祐	学校教育課 参事
土屋 仁	学校教育課 課長補佐
増田 義和	学校教育課 課長補佐兼子ども育成係長
朝比奈 誠	生涯学習課 課長補佐兼図書係長
原 隆史	学校教育課 学校教育係長
中堀 啓司	生涯学習課 社会教育係長

本会議録調製者は次のとおりである。

土屋 仁	学校教育課 課長補佐
------	------------

1 開会

13時30分 教育長開会を宣す。

2 会議録署名人選出

会議録署名人に 田中 とし子 委員を選出。

3 12月定例会会議録承認

事務局より資料に基づき説明、承認。

4 教育長報告事項

1月事業報告及び2月事業計画について、学校教育課参事、生涯学習課長から資料に基づき説明。

教育長

それでは、新聞記事を参考に何点か報告する。

1月3日付け新聞には、厚生労働省が、共働き世帯の小学生を預かり、放課後の生活や遊びの場を提供する放課後児童クラブと学習支援や交流活動を提供する放課後子ども教室の一体化を進める旨の記事が掲載された。

4月から新たに発足する「子ども家庭庁」が利用児童枠の拡充に取り組むものであるが、まだまだ人材や設備が不足している状況で、国からの支援を求めている。

1月5日付け新聞には、川勝知事が、物価高騰対策として「給食をなるべく無償に近い形で提供できるシステムを作れないか」と構想段階と断った上で、述べたことが掲載された。

下田市も今年度分の給食費を8月から免除する対策を講じているが、今後、助成拡充の検討を期待する。

1月6日付け新聞には、伊豆の国市の行方不明となっていた中学生が、無事保護された記事が掲載された。

昨年12月3日から行方不明となっていた男子生徒は、小田原市内のコンビニでの目撃を最後に不明となっていたが、1月5日に無事保護され安心した。

1月9日付け新聞には、賀茂6市町で開催された二十歳の集いの様子が紹介され、賀茂地区6市町では、対象者569人中437人が出席し、下田市では、対象者157人中128人が出席した。

下田中学校体育館での開催であったが、会場の雰囲気や、準備段階での飲酒チェックなどの徹底の成果で、卒業式や入学式のような整然とした式となった。

来年も同会場で実施する。

1月12日付け新聞記事には、稲生沢小学校で行われた書き初め大会の様子が紹介された。

年始の恒例行事であるが、新型コロナウイルス感染症対策のため、学年により時間と場所を分けて実施された。

1月13日付け新聞には、広島東洋カープの秋山翔吾選手が、他のプロ野球選手12人とともに行った吉佐美での自主トレーニングの際に、賀茂地区の学童野球7チーム約90人に野球教室を開催し、指導を行った様子が掲載された。

野球指導に携わっている教育委員会職員や教員何人も参加していた。

同日付け新聞であるが、12日に下田中学校で行われた大規模地震を想定した、救護所訓練の様子が紹介された。

2年生148人、医師会、消防本部、地元区など約50名が参加し、中学生は負傷者の治療の優先度を決めるトリアージの重要性を学んだ。

1月15日付け新聞には、「しもだまちじゅう図書館」事業の概要が掲載された。

本に親しんでもらうための県内初の取組で、市民が憩う民間施設に常時50冊程度を並べ、施設内で利用してもらおうというもので、3月頃のオープンを予定している。

1月18日付け新聞には、牧之原市での女子中学生の母親刺殺事件が掲載された。

新型コロナウイルスやインフルエンザの報道を飛び越え、衝撃を受けた。

「ごく普通の家族」と伝えられているが、児童生徒の心の置き場、やり場をつかむことの難しさを感じた。

通園バスへの置き去り事件に続き、牧之原市も大変だと思う。

牧之原市とは、サーフィンのホストタウンで、下田中学校と相良高校サーフィン部の交流があり、決して対岸の火事ではない。

1月19日付け新聞には、下田中学校2年生145人が、美術の授業で、下田の新名物となる和菓子作りに取り組んだ様子が紹介された。

生徒が、樹脂粘土で作成した和菓子は、和菓子店店主により5人の作品が選抜され、和菓子店で商品化し、26日から数量、期間限定で販売される。

下田中学校の廊下には、生徒の作品が展示されていた。

1月20日付け新聞には、稲梓小学校で行われた、県もの作り体験教室「WAZAチャレンジ教室」の様子が紹介された。

6年生8人が、洋裁技能士会のメンバー4人の指導を受け、卒業式で身に付けるコサージュづくりを体験した。

6年生は、卒業式を楽しみにしていることと思う。

1月20日付け新聞には、室伏広治スポーツ庁長官のインタビュー記事が掲載された。

昨年12月27日に、スポーツ庁と文化庁により、「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」が策定されたことに関わるもので、部活動の地域移行について、当初「2025年度末」としていた目標期限が、「地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す。」とされたことや、『改革集中期間』から『改革推進期間』としたことから、「国の本気度を問う」等に対する説明が述べられた。

下田市では、先ほど事業報告で説明があったとおり、24日に下田市立中学校部活動在り方検討協議会を開催し、新たなガイドラインを含めた、部活動改革に係る経過、下田中学校の部活動の現状についての説明、中学校教職員への部活動に対する意識調査の実施等を協議した。

1月23日付け新聞には、22日に開催された下田・河津間駅伝競走大会の様子が掲載された。

悪天候、コロナ禍で4年ぶりの開催で、当日は好天に恵まれ、5部門32チームが出場し、「梓友会と仲間たち」チームが総合優勝に輝いた。

下田中学校男子は、全体でも4位の成績で大健闘であった。

なお、資料にはないが、昨年末の新聞には文科省の調査で、昨年度に心の病で休職した公立学校の教職員は5,897人と、過去最多を更新したとの記事が掲載されていた。

精神疾患で1箇月以上の病気休暇を取得した教職員を加えると、初めて1万人を超えたとのことで、新型コロナウイルス感染症対策で多忙化に拍車がかかり、教員間でのコミュニケーションをとる機会の減少も影響していると分析している。

伸び率は20歳代が最も高くなっている。

また、性暴力やセクハラでの懲戒、訓告処分は215件で、体に触る、盗撮、のぞきが多い結果となっているとの調査結果も掲載されていた。

以上、教育長報告事項について、質疑、意見等あればお願いしたい。

- 田中委員 二十歳の集いは、会場が下田中学校体育館となったことで、準備が大変であったと思うが、静粛に執り行われて良い式であった。会場が下田中学校の新体育館であったのも良かったと思う。
- 西堀委員 二十歳の集いに関して、駐車場整理で、交通指導員と来場者でトラブルがあったと聞いた。
交通指導員との事前の意思疎通が不足していたようで、トラブル時に職員が対応できるよう、来年度は事前の打ち合わせをしっかりとお願いしたい。
- 生涯学習課長 式典参加者は、認定こども園駐車場に駐車するようお願いしていた。
トラブルのあった来場者については、スポーツセンターの駐車場に駐車したかったようであるが、スポーツセンター駐車場は、施設利用者優先の駐車場であるため、認定こども園駐車場が満車になった場合のみ利用する予定であった。
来年度も下田中学校で二十歳の集いを行う予定のため、交通指導員との事前打ち合わせやトラブル時の対応について綿密に打合せを行うこととする。
- 田中委員 部活動地域移行の記事を拝見する限り、国は、現場の教職員の多忙化を理解しているのか疑問に感じる。
また、教職員の働き方改革の視点で語られることが多いように思うが、生徒にとっても充実したものになるという視点も大切にしていきたい。
- 教育長 第1回目の下田市立中学校部活動在り方検討協議会では、下田中学校での部活動の現状や重要性を共有するとともに、活動の地域移行の大変さを委員の皆さんに確認していただいた。
今後は、部活動の地域移行を行っている先進自治体を参考に検討を行っていく。
- 宮内委員 教職員の部活動時の待遇はどのようになっているのか。
- 教育長 昭和46年に制定された、公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法、給特法に基づき、教育職員については、給料月額額の4%を教職調整額として支給されており、時間外勤務手当、休日勤務手当は支給されない。
教職調整額は、50年以上前に、部活動の勤務時間に当時の給与を換算したもので、法律の改正がされず、部活動指導は教職員のボランティア的な勤務となっている。
- 教育長 その他、質疑、意見等あればお願いしたい。
- 全委員 特になし。

教育長

それでは、教育長報告事項は承認することとする。

5 議事

(1) 議第1号 令和5年度下田市立小・中学校教職員の人事異動の基本方針について

教育長

議第1号令和5年度下田市立小・中学校教職員の人事異動の基本方針についてを議題とする。

事務局の説明をお願いします。

学校教育課参事

議第1号令和5年度下田市立小・中学校教職員の人事異動の基本方針について、令和5年度下田市立小・中学校教職員の人事異動の基本方針を定めることについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第1項第3号の規定により、教育委員会の承認を求めるもので、提案理由は、令和5年度の教職員の人事異動の基本方針を定め、基本方針に基づいた人事異動を静岡県教育委員会に内申するもの。

内容としては、下田市教育大綱に基づく、未来を切り拓く志をもち、たくましくしなやかに生きる児童生徒を育むために、学校教育の充実と学校の組織力向上に向けた人事異動とし、人事異動を進めるにあたっては、静岡県教育委員会の教職員人事異動方針や静東教育事務所の人事の重点に基づき、地域の実態や各学校の教育課題を踏まえ、次のとおり基本方針としたもの。

まず、1. 「教育活動の充実」として次の5点を掲げた。

(1) 児童生徒が達成感や充実感を味わうことができるよう、子ども一人ひとりの主体的な学びの実現と、多様性を認め合う学校づくりに努める。

(2) 活力ある学校を実現するために、異動希望を尊重し、教職員一人ひとりのよさや持ち味を生かした配置に努める。

(3) チームとして機能する組織になるよう、管理職及び教職員を意図的に配置する。

(4) 特別支援教育の充実を図るため、その推進者となる教職員の効果的な配置及び育成に努める。

(5) 関係諸機関と連携しながら、地域と共に歩む学校づくりを実現するため、若手・中堅・経験豊かな教職員を適正に配置する。

次に、2. 「教職員の資質の向上」として、次の4点を掲げた。

(1) 教職員の適性、職務経験、学習指導力、生徒指導力等を考慮し、計画的な広域交流を進める。

(2) 1校在職6年以上勤務者、新規採用後3年以上勤務者の交流、新規採用後10年間に校種や地域の異なる3校での勤務を経験できるよう、計画的な交流を進める。

(3) 視野を広げるため、4地区間(下田・東賀・南伊豆・西豆)での交流を進める中で、特別支援学校、他地区、異校種、行政機関等を考慮した異動を計画的に行う。

(4) 今日的な課題に対応する指導力等を育成するために、静東教育事務所や総合教育センター、教職大学院や海外等への派遣を積極的に進める。

最後に3. 「機能的で活力ある組織づくり」として、次の4点を掲げた。

(1) 学校運営の中核となり、安心・安全な教育環境づくり、協働性溢れる学校づくりを推進できる教職員を意図的に配置する。

(2) 確かな理念と熱意、指導力、実行力に加え、高い倫理観・使命感を備えた、組

織をリードするにふさわしい人材の登用・育成に努める。

(3) 機能的で活力ある学校組織の構築に向け、長期的・広域的な視野に立った管理職の配置を図り、特に意欲と能力のある女性及び若手の管理職登用に努める。

(4) 校長がリーダーシップを発揮し、特色ある教育活動を推進するため、学校経営の継続性に配慮した校長の配置に努めるとともに、実情に応じた教職員の同一校在職期間に配慮する。

以上の基本方針に基づいた、人事異動の内申を2月定例教育委員会で審議いただく予定である。

教育長 事務局の説明に対し、質疑、意見等あればお願いしたい。

全委員 特になし。

教育長 議第1号令和5年度下田市立小・中学校教職員の人事異動の基本方針については、原案のとおり承認するものとする。

6 協議報告事項

教育長 事務局から、協議報告事項があればお願いする。

学校教育課長 先ほど、1月臨時市議会が30日から開催される旨の報告をしたが、臨時市議会に天野前委員の後任教育委員の人事案件を提出した。

後任の委員は、下田市敷根に在住の西川紀栄さん、52歳の女性の方で、下田中学校3年生と下田小学校5年生2人の保護者で、現在は、下田中学校のスクールサポートスタッフとして勤務されている。

西川さんは、下田中学校吹奏楽部への演奏指導等の支援や、下田小学校においても、ホットドックというボランティアグループに参加し、読み聞かせや、学校図書館整備等の活動を行っている。

1月30日に市議会で議案審議が行われ、同意が得られれば、1月31日からの就任となる。

任期については、天野委員の残任期間である、令和7年12月13日までとなる。

学校教育課参事 新型コロナウイルス感染症の状況について、報告する。

現在は、感染状況も落ち着いており、市内小・中学校では、1日に2人から3人程度の陽性者が発生している状況である。

なお、県内では、インフルエンザによる学級閉鎖等が報道されているが、市内小・中学校では、インフルエンザの感染者は、現在まで1人が報告されているのみである。

また、委員の皆さんにも連絡したが、学校に不審なファックスが送られている。同様なファックスは、全国的に送られており、県内東部の全中学校に送られているようである。

下田警察署とも情報共有しており、学校に対して、学校危機管理マニュアルに基づいた対応や関係機関への連携、下校後の施錠、来校者に対する受付、確認の徹底、児童生徒及び保護者に対する注意喚起等を指導した。

教育長 協議報告事項について質疑、意見等あればお願いしたい。

事務局 特になし。

教育長 それでは、協議報告事項は終了する。

7 その他

教育長 委員の皆さんから「その他」に関して、何かあればお願いしたい。

田中委員 総合教育会議の開催が予定されており、高校の魅力化について話し合われるのであろうが、これまで何度か議論されているが、この議論が次にどのように活かされるのか、方向性が分からない。今後の見通しを伺いたい。

教育長 2月中旬に高校も含め、市、教育委員会との協議の場を持つこととなっており、主に高校の魅力化について協議することとなる。方向性については、今後確認する。

田中委員 下田幼稚園閉園式の案内をいただいたが、委員は全員出席するのか。

子ども育成係長 都合がよろしければ出席いただきたい。

宮内委員 30日に下田中学校で参観会が行われ、併せて、保護者と子どもに対する携帯電話の使用に関する講座が開催される。保護者にとっては、大変ありがたい。

また、先ほどの教職員の人事異動の基本方針に関連し、白浜小学校の卒業生が、当時の担任の教諭に憧れ、本人も教員を目指し、大学の教育学部に進学した。

このように、児童生徒に信頼され、憧れを持たれるような教職員を育成していただきたい。

教育長 おっしゃるとおりである。

児童生徒が教員に憧れを持つことで、教員採用試験の倍率にも影響してくる。教職員には研修を積んでもらい、人材育成とともに、魅力的な教員を増やしたいと考えている。

委員の皆さんから他にあればお願いしたい。

全委員 特になし。

教育長 それでは、事務局から次回の日程について報告をお願いします。

教育委員会 2月定例会を2月24日（金）13時30分から道の駅開国下田みなと会議室3で開催。

8 閉会

1月定例会 1月26日（木）13時30分開会。

教育長 14時31分に閉会を宣す。

会議録署名人